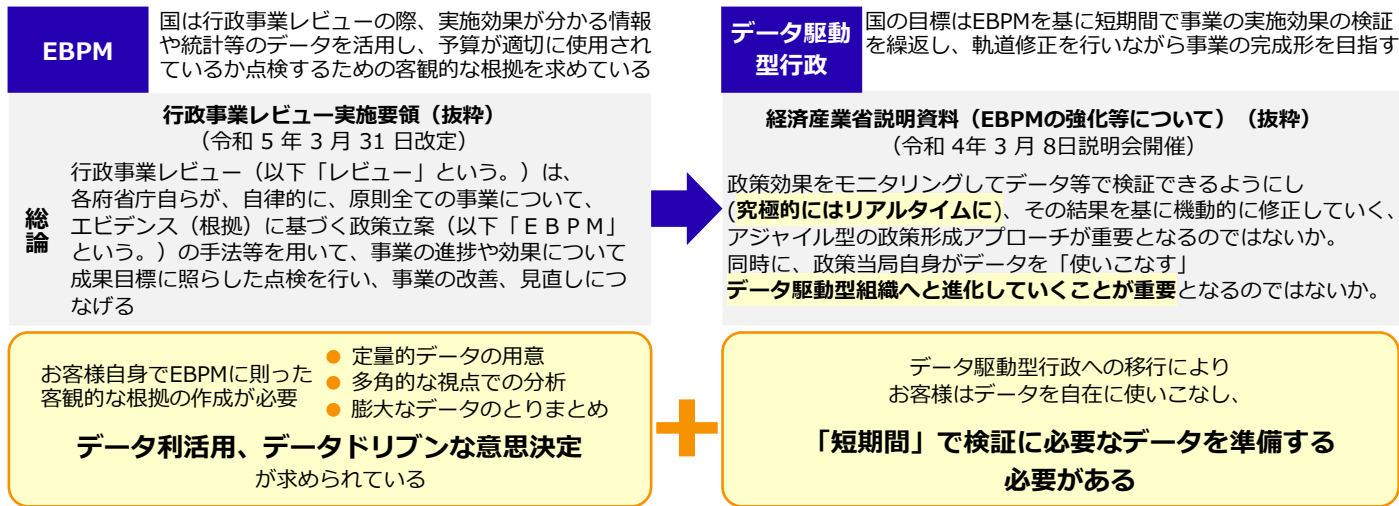


【情報化戦略】 データ利活用支援

データ分析の結果に基づく、データドリブな施策立案の実現

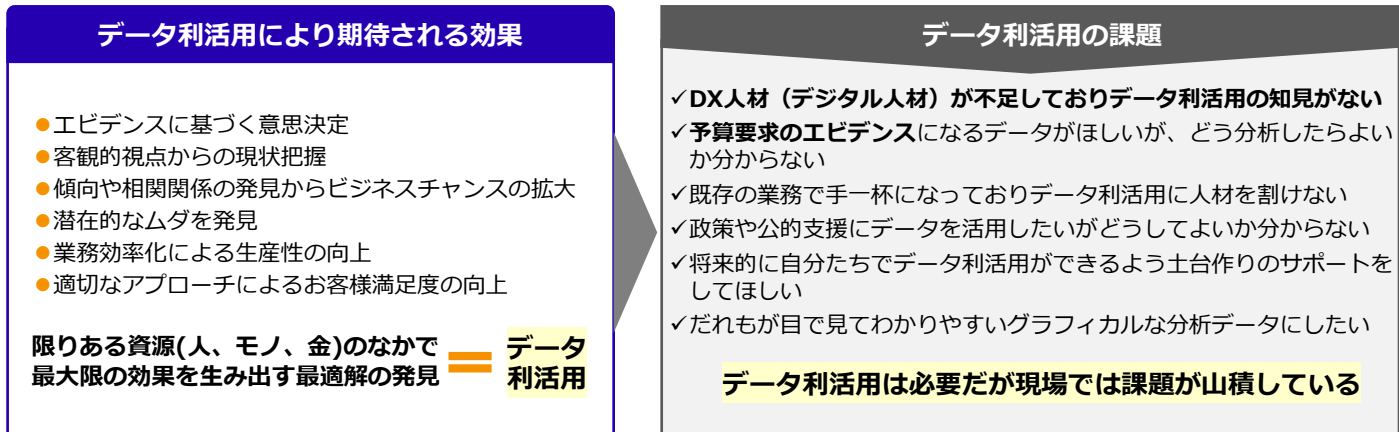
1. データ利活用の動向

近年、国は予算を使用するすべての事業に対し実施効果がわかる客観的な根拠を求めるEBPMを推進しています。今後、データ駆動型行政に移行することで実施効果をリアルタイムに検証し、迅速かつ適切な施策立案を目指しています。



2. お客様のお悩み（課題）

データ利活用は限られた資源を最大限有効に活用する活動であり、様々な効果が期待されます。しかし、データ利活用にはDX人材の不足等、多くの課題が存在しています。



3. サービスの特長

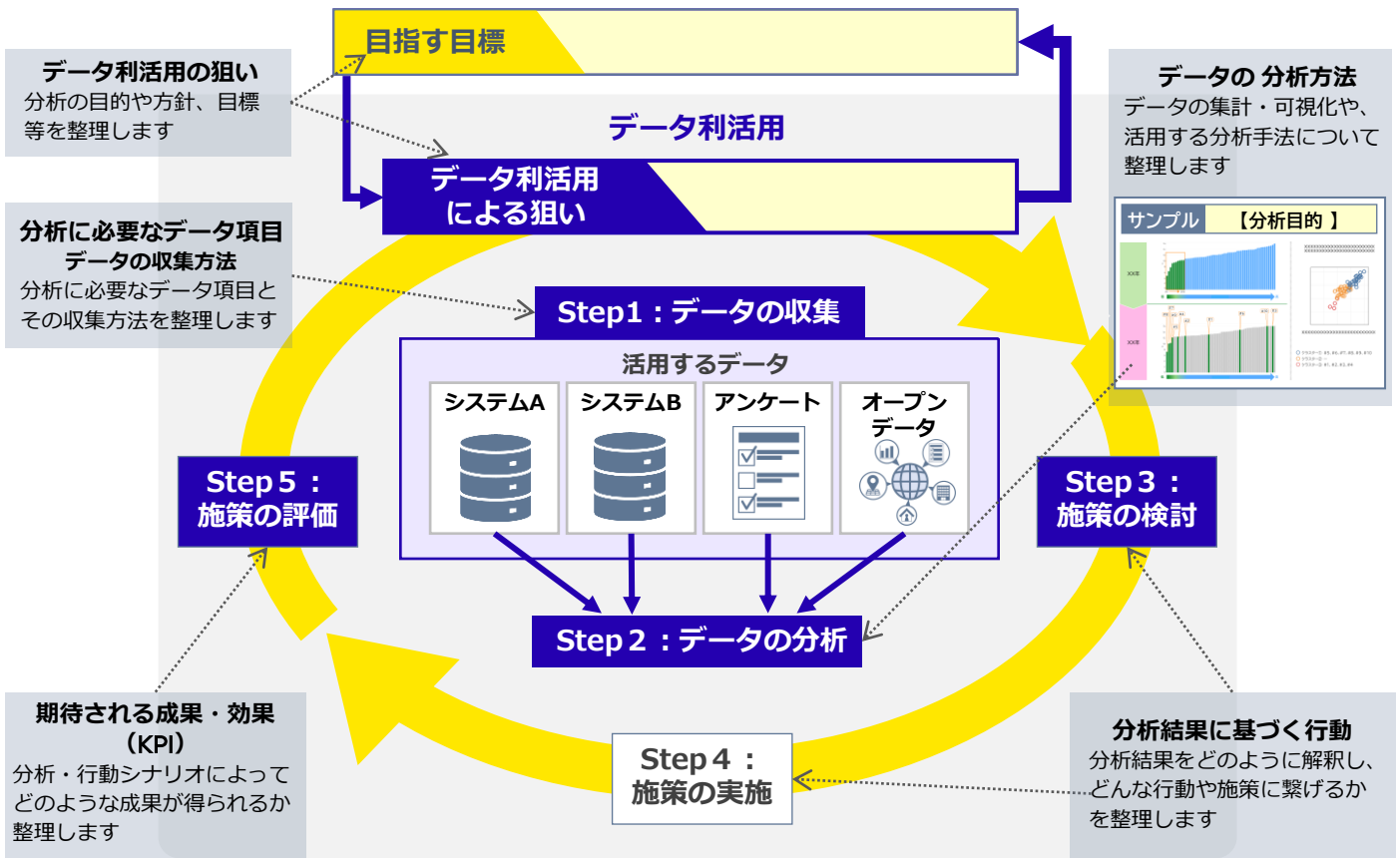
データ利活用の課題を解消した上でのデータ利活用やデータドリブな意思決定を実現すべく、弊社コンサルタントが**分析・行動シナリオ**を策定します。

サービスの特長

- ① 分析・行動シナリオを策定することによって、データの分析から分析結果に基づく施策立案までの一連の流れを実行できるようにします
- ② データ利活用の知識がなくても、エビデンスに基づく施策立案が可能になります
- ③ 自治体の政策や業務に通じたコンサルタントが、お客様の政策目標やデータ活用習熟度に応じた支援を行います

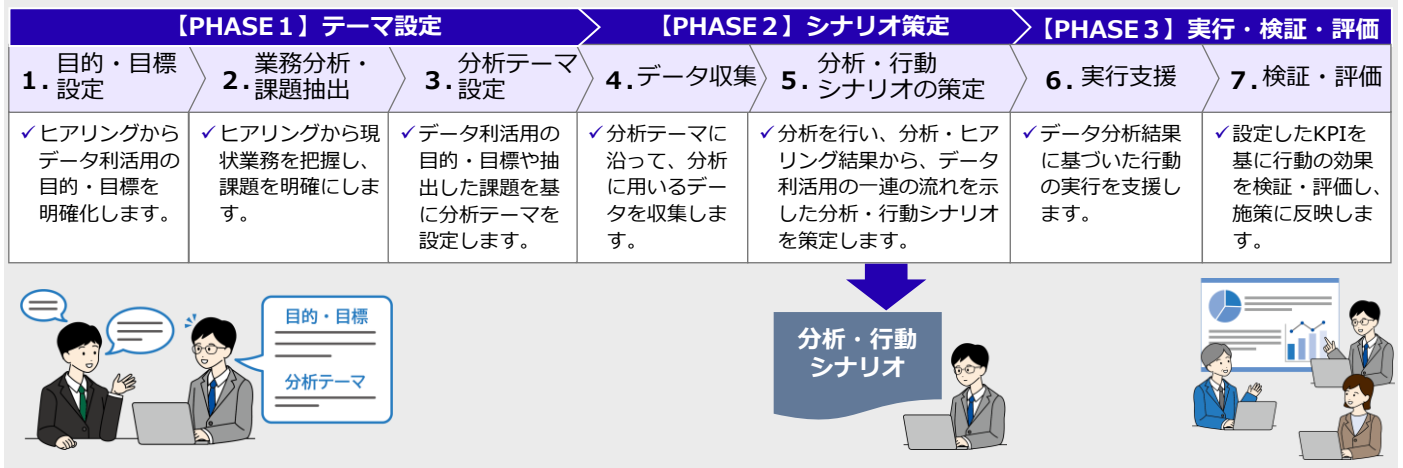
4. 分析・行動シナリオの考え方

データ利活用の一連の流れ（データの収集から集計加工、分析、結果に基づいての行動、実行した行動の評価）を分析・行動シナリオとしてテンプレート化することで、データ利活用の知見の少ない方も、データに基づく行動や施策立案ができます。



5. 進め方

ヒアリングを基にしたデータ利活用の目的・目標の設定から、分析・行動シナリオの作成までの調査・分析とどまらず、実行支援、検証・評価を実施し、現場でのデータ利活用をご支援します。



お問い合わせ先

株式会社富士通総研

公共デジタル戦略グループ E-mail: fri-pds-webmaster@cs.jp.fujitsu.com

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア